

2023年3月21日(火) 師崎 ウタセ真鯛(小鯛釣り) 奥村釣船 ツレと

大潮:旧2/30

干潮 前日23:33(0cm) 満潮06:02(213cm) 干潮 11:53(43cm) 満潮 17:50(212cm) 師崎湾港

自分	マダイ(チャリコ)	8尾	メバル	22cm	1尾
ツレ	マダイ(チャリコ)	6尾	カサゴ		1尾

04時30分 出発
05時50分 港着 高速、コンビニ
06時30分 集合
07時00分 出船
11時53分 干潮 43cm : 師崎湾港
13時00分頃 沖上がり
帰宅後 魚の処理 1時間00分



【料金】 乗り合い 13,000円 餌、氷、仕掛け、おもり サービス
釣り座は抽選

【仕掛け】 サービス ハリス約1m 枝間約1.5m 3本鉤
錘 40号~80号 (今日は潮の流れが速く80号も使用) 船上で借りる
竿 ウタセ真鯛用竿(自分) マダイ用竿(ツレ) 電動リール 竿受け
エビ用網
電動リール 自分:シーボーグ300J ツレ:BeastMaster3000XP 電動リール用バッテリー
※「かんこ」から魚をすくうためのタモ 魚を締めるためにゴム手袋 アイスピック ナイフ」を持参したが、釣った魚は船長が締めるので不要

【様子】

- ネットで釣果が上がっていることを見つけたので、潮と天気を見て行くことにした。
- 釣り座の抽選は4番くじ。右舷ミヨシ、胴に並んで釣ることにした。
- 船は大きくなかった。トイレは女性が使うには…。
- 天気は曇り。初めは、ややうねりがあったが収まっていった。
- 酔い止めは5時20分に飲んだ。当然、酔わなかった。
- 沖に出るのかと思っていたら、港を出てすぐのところだった。海苔養殖の網が張ってあり、その海苔を食べにタイが集まるとのこと。
- 「おもりは40号。着底後、すぐにゆっくり巻き上げる。エビは尾掛け。タイはエビの目をめがけて喰ってくるので、餌がかじられていても、目があればそのまま釣る。餌を付け替える手間を省く。着底3秒で喰ってくるから、底で待っていては釣れない。当たりがあれば合わせる。」とアナウンス。
- アナウンス通りに試してみた。仕掛けはまっすぐ下に落ちる。すぐに当たりがある。
- やがて当たりが止まるだろうと思い、手際よく、繰り返した。
- 潮が大きくなってきた。おもりを60号に変えた。この当たりから釣れなくなった。
- 更に潮が大きくなり、おもりを80号に変えた。当たりが止まってしまった。餌を取らない。餌が3つとも残ってくる。
- 次の潮止まりまで、ダメだろうと思った。潮止まり12時ごろである。ずっと沈黙が続いた。

- 潮が収まってきた。60号に変えた。同船者が釣った。
- 40号に変えた。2尾釣った。ツレはダブルを入れて3尾釣った。
- また、潮が大きくなってきた。釣れなくなった。13時納竿となった。
- 「いつもなら、一日中釣れ続ける。今日はさっぱりダメ。潮が大きすぎた。」
スナメリが来ていたという情報もあった。
- 潮高差170cmでは潮が大きすぎる。潮高差160cmまでが良いと思っている。この日、神島では142cmだった。142cmだったので行くことにしたのだが、…。

【釣り方】

- おもりが着底したら、直ちに電動で巻き上げる。
着底したら、1m巻き上げる。当たりがなければ、底まで落とし2m巻き上げる。
これで当たりがなければ餌をチェックする。
シーボーク300J スピード 1

※ツレの電動リール(ビーストマスター)に電源が入らなかった。修理に出さなくては…。

※潮高差 170cmでは釣りにならない。